高蔵寺どんぐりｓ

ふれあいだより

NO 152
2026. 6. 10

高蔵寺どんぐりｓ発行（☎090-1566-7767）

NPOを解消、柔軟な活動を目指す
新生「どんぐりｓ」新代表に山口さん

「高蔵寺どんぐりs」は５月２４日、「グルッポふじとう」で定例総会を開催、NPO（特定非営利活動法人）を解消し、任意の市民団体として活動することを決議した。NPOとしての一定の役割を果たしたことと煩雑な事務作業や規制から脱却、より柔軟な活動をめざす。同時に新代表に山口正恵さんを選出、執行部の若返りを図り、新生「どんぐりｓ」のかじ取りを担う。

高森山で落ち葉滑りを楽しむ子供たち

高森山の魅力をさらに高めよう

高蔵寺どんぐりｓ代表・山口正恵

5月24日の第19回定期総会において長きにわたり「どんぐりｓ」を牽引していただきました堀内理事長よりバトンを引き継ぎました。当会も高齢化は例外ではなく、幅広いまちづくり活動が難しくなり、事務処理の煩雑さなどからNPOは解散することとなり、任意団体となります。今までの「活き活き楽農会」「くらし相談会」はそれぞれ独立した活動をすることとなりました。今後は「魅力ある高森山公園をつくる会」「どんぐりっこ」「すまいに関する相談会」がどんぐりsの主な活動となります。

〈**自然環境整備保全と活用**〉高森山公園の整備保全管理は部会「魅力ある高森山公園をつくる会」が担当します。環境省の「自然共生サイト」に春日井市で初めて認定されましたが、より生物多様性豊かな「まちの里山」をめざします。また、よく知っていただくために「ツツジを見よう会」のほか自然観察会も定期開催します。

〈**次世代の育成**〉子どもたちのイベントの開催は部会「どんぐりっこ」が担当します。幼児や小学生が豊かな自然のなかで生き物の大切さや不思議さを五感で体験し、知ることより感じることに主眼をおいて開催します。

〈**すまいに関する相談会**〉ニュータウンの高齢化が進む中、住宅問題を抱えて解決できずにいる方は多いと思われます。定期開催により改修の方法や費用についてのアドバイスをして安心してもらえる場となることを願っています。

〈**産学官民協力体制**〉高蔵寺どんぐりsの活動を支えるのは会員の皆さんはもとより行政、地元の企業、学校の協力が欠かせません。協力体制を強化し活動を推進してまいります。

高蔵寺ニュータウンのシンボルとも言うべき高森山は50年前に山火事で禿げ山になりましたが、地元住民らがドングリを播いて育て今では大木に成長しています。9年前に鬱蒼とした暗い森に光と風をとおして活用しようと立ち上がったのが高蔵寺どんぐりsでした。これからも私たちは「まちの里山」が地域住民に愛され親しまれる場となるよう活動してまいりますので皆様の一層のご協力をお願いします。

高森山の整備、ほぼ目的達成

理事長退任に際し感謝ー堀内　泰

２００９年、ＮＰＯ高蔵寺どんぐりｓの役員に就いて１７年、最後の６年は代表（理事長）も兼ねることになった。重責であったが、ニュータウンを生き甲斐と活気あふれるまちにし、多くの人の喜ぶ顔を見たいとの想いが強く続けられた。人と人が繋がるイベントを催し、多くの住民が参加できる機会を設けることにより、住民が明るい笑顔で暮らせる地域にしたかった。

今総会でＮＰＯを解散することになり、残念ではあるが、時代の流れでやむを得ない。今迄、ＮＰＯの看板で取り組んできた活動のお陰で行政を始めとする諸団体、個人とゆるぎない信頼関係が築けた。

やはり自らが呼びかけ立ち上げた２００９年設立の部会「活き活き楽農会」が会から独立するのは、感慨深い。定年後に趣味を活かして好きな畑仕事をしながら人が繋がるコミュニティづくりを目指した。今や、生き甲斐を感じながら約30人が美しい景観が広がる庄内川沿いで玉野の農家と一緒に野菜づくり楽しんでいる。

また、２０１７年、自然を親しむ仲間に呼びかけて発足した「魅力ある高森山公園をつくる会」も印象が深い。当時、鬱蒼となり物騒で入りにくい高森山だったので、整備により誰もが気楽に利用できる里山づくりを進めた。８年かけた作業の結果、今は大人も子どもも楽しく散策できる里山に近づき、ほぼ目的は達成できた。生き物が７００種類も棲息しており、２０２４年に環境省の生物多様性に資する場所として、「自然共生サイト」に春日井市で初めて認定されたのは、この上ない喜びである。

また、２０２５年から次代を担う「どんぐりっこ」の子ども達が高森山をフィールドとして、羽ばたき始めた。子どもらが野生味あふれる所で触れ合い遊ぶうちに、いつのまにか自然の素晴らしさに感動する。自然の不思議な仕組みを知り、慈しむ子に育っていくように見守りたい。これからもできる限り、どんぐりｓの活動を支えていきたい。役員、会員の皆様のお陰でつつがなくどんぐりｓの舵取りをすることができました。返す返すお礼申し上げます。

私の朝・昼・晩

涙の塩加減

ついこの間、令和8年が始まったと思いきや、もう半年も過ぎた6月です。あまりのスピードにビックリビックリ。あっという間に過ぎ去る年初3か月のことを「1月往（い）ぬる、2月逃げる、3月去る」と昔から言われていますが、逃げて去って行く「時間」を追いかけることは本当に難しいものですねぇ。

ところで、「涙はしょっぱい」と、言われていますが、「悔し涙」と「嬉し涙」では、味が違うことをご存じでしょうか。これは、体内で使う神経が別々のためだそうです。「悔し涙」は、交感神経が働いて水分が少なくなるために涙の味が濃くなるそうです。「嬉し涙」は、逆に副交感神経が水分を多く出すことから涙の味が薄味になるそうです。

そういえば、小生の涙が濃い味なのは、悔し涙ばかりのせいか ？　これでは、血圧も上がるハズだよなあぁ‥(^_^;) さて、皆さまの涙の塩加減は如何なお味でしょうか？一度、ご自分の涙の味をお試しご覧あれ (^O^)。　　（諸戸　行雄）

「ツツジを見よう会」今季は満開

2年続きでツボミの時期となった「高森山でツツジを見よう会」は、開催を例年より10日ほど遅らせた効果で、今季はほぼ満開と重なった。だが、肝心の開催日の5月４日が雨にたたられ、翌５日に順延となった。市長の参加も取りやめ、参加者は約50人と低調だった。それでも薄紫に染まる散策路でガイド役の会員たちの解説に耳を傾けた参加者からは、「来てよかった」「近所にこんなきれいなところがあるとは知らなかった」と喜びの声が聞こえた。

すまい困りごと無料相談

●電話または直接面接会場にお越しください。
☎080-5297-8956（長谷川）
●面接相談会日・会場
６月14日（日）グルッポふじとう
７月12日（日）グルッポふじとう
（いずれも１３：３０～１５：３０）
・当会員の一級建築士が相談の応じます